



第12回 養父市国家戦略特別区域会議資料

養父市 中山間農業改革特区

平成30年 5月30日

養父市長 広瀬 栄

すべての農地に稲穂が蘇った能座地区

テレビ電話を活用した薬剤師による服薬指導の対面原則の特例

養父市の現状

全域過疎地域

全域豪雪地帯

面積あたりの薬剤師数
全国平均の0.13倍



特例活用の効果

条件不利益地において、効率的な医療機会を確保する有効な『処方箋』



養父市特区関連の近況及び新たな提案

自家用有償観光旅客等運送事業（自家用自動車の活用拡大）の実施（H30.5.26）

養父市マイカー運送ネットワーク（愛称：やぶくる ）が事業開始

- ・観光客を対象とした自家用有償旅客運送事業（特区活用）
- ・タクシー事業者が実施主体に参画しながら運行管理を実施
- ・30代～70代の16名のドライバー（子育て世代、女性も事業に参画）



全国初！

新たな提案について サンドボックス制度の活用

◆トラクター等の自動走行へのチャレンジ

労働力が不足する中山間地での農作業を効率化するためにトラクター等の自動走行を可能に。

面的に実証エリアを設定し、
散在する農地を結ぶ公道を含めた自動走行を実現



◆ドローンを活用した農地管理

拠点から遠方に散在する農地の状況確認のためにドローンの自動飛行を可能に。

面的に実証エリアを設定し、
ドローンの目視外飛行を実現

